

News Release

2019年8月22日
独立行政法人製品評価技術基盤機構
NITE（ナイト）
東北支所

自然災害をきっかけに発生する製品事故 ～備えは万全に～ (東北版資料)

1. 事故の発生状況

東北地方6県(青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県)で2009年度から2018年度の10年間にNITE(ナイト)に通知された製品事故情報^{※1}では、自然災害発生時に起きた製品事故とガスや電気が復旧した時に発生した製品事故は合わせて4件^{※2}ありました。甚大な災害時にNITEに報告されなかった事例は数多くあると推察されます。

また、自然災害発生によりガスや電気が止まった際に使用される製品^{※3}(本資料では以降「非常用設備」と記述する)の誤った使用や経年劣化による事故は4件^{※2}ありました。

被害の状況は、自然災害発生時の事故および非常用設備の事故をあわせ死亡1人、軽傷1人、拡大被害は3件です。

表1 自然災害発生時の事故および非常用設備の事故の県別の年度別事故発生件数

発生年度 \ 発生県	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	合計
2009年度	0	0	1	1	0	0	2
2010年度	0	1	2	0	0	0	3
2011年度	0	0	0	0	0	1	1
2012年度	0	0	1	0	0	1	2
2013年度	0	0	0	0	0	0	0
2014年度	0	0	0	0	0	0	0
2015年度	0	0	0	0	0	0	0
2016年度	0	0	0	0	0	0	0
2017年度	0	0	0	0	0	0	0
2018年度	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	1	4	1	0	2	8



表2 自然災害発生時の事故および非常用設備の事故の県別の年度別事故発生件数

被害状況	発生県						
	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	合計
死亡	0	0	1	0	0	0	1
重傷	0	0	0	0	0	0	0
軽傷	0	1	0	0	0	0	1
拡大被害	0	0	1	1	0	1	3
製品破損	0	0	2	0	0	1	3
被害なし	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	1	4	1	0	2	8

表3 自然災害発生時の事故および非常用設備の事故の県別の年度別事故発生件数

原因区分	発生県						
	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	合計
製品に起因する事故	A:設計、製造又は表示等に問題があったもの	0	0	0	0	0	0
	B:製品及び使い方に問題があったもの	0	0	0	0	0	0
	C:経年劣化によるもの	0	0	0	0	0	0
	G3:製品起因ではあるが、その原因が不明のもの	0	0	0	0	0	0
製品に起因しない事故	D:施工、修理、又は輸送等に問題があったもの	0	0	0	0	0	0
	E:誤使用や不注意によるもの	0	0	2	1	0	3
	F:その他製品に起因しないもの	0	1	2	0	0	5
G1、G2:原因不明のもの		0	0	0	0	0	0
H:調査中のもの		0	0	0	0	0	0
合計		0	1	4	1	0	8

- (※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含める。
- (※2) 重複、対象外情報を除いた事故発生件数。
- (※3) カセットコンロや携帯発電機など。

2. 主な事故事例

【自然災害の影響で発生した製品事故の事例】

○2012年12月9日（宮城県、年齢性別不明、使用期間約11年、製品破損）

事故内容:タイマーに電気製品を接続して使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。

事故原因:当該製品の施工時の電源端子部のねじの締付が不十分であったか、または、地震等の振動によりねじが緩んだため、電源端子部で接触不良が生じて異常発熱したものと考えられ、製品に起因しないものと推定される。

○2011年9月22日（福島県、年齢性別不明、使用期間不明、拡大被害）

事故内容:照明器具から出火し、畳や床板の一部が焼損した。

事故原因:震災により屋根等が損壊した家屋に、台風による雨水が吹き込み、照明器具の電源接続部に浸入したため、短絡が生じ出火したものと推定される。

【非常用設備に関する事故の事例】

○2011年3月20日（宮城県、年齢性別不明、使用期間不明、死亡）

事故内容:発電機を使用していた部屋で、2名が倒れた状態で発見された。病院に搬送後、1名が死亡(死因は不明)、1名が重症になり、一酸化炭素中毒と診断された。

事故原因:当該製品を屋内で使用し、換気していなかったため、排ガスにより一酸化炭素中毒に至ったものと考えられ、製品に起因しない事故と推定される。

なお、本体には、「排ガス中毒の恐れがあるため、屋内など換気の悪い場所で使用しない。」旨、記載されている。

○2010年11月10日（岩手県、80代女性、使用期間約2日、軽傷）

事故内容:使用中の業務用魚焼き器の上にカセットボンベを装着したカセットこんろを置いていたところ、当該製品が破裂する火災が発生し、1名が負傷した。

事故原因:当該製品を装着したカセットこんろを、魚焼き器の排気口の上に置いたまま魚焼き器で調理していたため、当該製品が過熱されて内圧が高くなり当該製品が破裂したものと推定される。

なお、本体表示には、「容器をストーブなど熱気のあたる所に置かない」「使用後は器具から外してキャップをして保管する」旨、警告表記されている。

3. 自然災害発生時の事故および非常用設備の事故の実験映像について

自然災害発生時の事故および非常用設備の事故の実験映像に関しまして、写真及びムービーをご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+NITE のロゴ」としてください。

以上

【編集人のつぶやき】

自然災害の影響による製品事故は、

- ・災害時に起きる製品事故
- ・災害後、ガスや電気が復旧した際に起きる製品事故等あります。

宮城県で大震災を経験した編集人は、近所の人に「電気のブレーカーは切っておいて下さい」、「ガスの栓が閉まっているのを確認してください」とアドバイスされたことを思い出します。

災害後のインフラ復旧時に事故にあいたくありませんもんネ！！

(本件に関する問い合わせ先)

〒983-0833 宮城県仙台市宮城野区東仙台 4-5-18

独立行政法人製品評価技術基盤機構(略称:NITE)
東北支所 業務課

担当: 菊地(きくち)、齋藤(さいとう)、福井(ふくい)

電話: 022-256-6423

E-mail: jiko-tohoku@nite.go.jp

NITE
ホームページ



YouTube
公式チャンネル



Twitter
公式アカウント

